

平成 24 年度伊佐市当初予算の概要



2月24日招集の3月議会定例会へ提案

予算規模

一般会計:147億2,000万円(前年比:1.4%増) 市の木 ひのき

「いい世の中にする予算！」

1 4 7 億 2,000 万円
いいよのなか に

当初予算の主な内容

【概数で表示】

キーワード『未来志向の創造力』

(精神基盤)

- ・南三陸へ職員を派遣 (被災地へ1年間2名を派遣) … 5年間継続 500万円

(生産基盤)

- ・伊佐米輸出に価格補てん タイ産米に勝負、品質確保と販路拡大に取り組む 150万円
- ・新ゴボウの面積拡大を図る 資材購入、機械購入に助成 400万円
- ・特定優良種雌牛保留導入事業を強化 優良雌牛購入を支援 2,000万円
- ・県知事特認事業で降灰対策を図る 農業機械を整備 (徳辺・下荒田・宮人・東・須原・金波田地区) 3,700万円
- ・新規就農者を支援 国の事業2名、市単独事業5名の新規就農を目指す 900万円

(社会基盤)

- ・自立したコミュニティづくりを目指す 元気なまちづくりを支援 1,400万円
- ・伊佐市での新たな出会いを応援 独身男女の出会いの場を創出 80万円
- ・木造住宅整備を活性化 伊佐市内の建築業者と製材業者に活力 6,000万円
- ・計画的に避難所を整備 避難所にテレビを設置、トイレを洋式化へ (曾木小屋外トイレ含む) 1,700万円
- ・針持小学校プールを整備 針持川河川改修工事により移設 9,900万円
- ・学校教育施設を整備 大口小学校危険校舎解体などを整備 7,900万円
- ・社会資本整備で雇用確保 公共土木工事で雇用を確保 4億8,000万円
- ・第5期介護保険事業がスタート 【保険料基準月額3,600円⇒ 3,960円に】

【主な条例議案】

- ・伊佐市中小企業防災対策促進条例
- ・伊佐市木造住宅整備促進支援基金条例
- ・伊佐市トータルサポートセンターの設置及び管理に関する条例
- ・伊佐市立学校設置条例の一部改正

1 当初予算総括表

会 計		平成24年度 当初予算額(A)	平成23年度 当初予算額(B)	増 減 (A) - (B)
一 般 会 計		147億2,000万円	145億1,000万円	2億1,000円
特 別 会 計	国民健康保険事業	42億9,530万円	43億4,000万円	△4,470万円
	介護保険事業	31億190万円	31億4,730万円	△4,540万円
	介護サービス事業	1,519万円	1,352万円	167万円
	後期高齢者医療	4億644万円	4億260万円	384万円
	簡易水道事業	76万円	77万円	△1万円
	農業集落排水事業	1億9,333万円	1億9,643万円	△310万円
	水道事業特別会計	収入:4億8,251万円 支出:5億9,878万円	収入:4億528万円 支出:5億71万円	7,723万円 9,807万円

2 歳 入

【概数で表示】

○ 市 税

30億2,300万円

(対23年度当初予算額: 6,500万円 2.2%)

平成22年度の税制改正により子ども手当の創設とあいまって年少扶養親族(～15歳)に対する扶養控除(33万円)の廃止し、高校の実質無償化に伴い16～18歳までの特定扶養親族に対する扶養控除の上乗せ分(12万円)を廃止することによる税収の増(法改正分51,164千円の増)

【平成24年6月から適用】

農業所得は米価の高騰による所得の増、年金納税義務者の増を見込みました。

給与所得については納税義務者の減少により総所得額を3億3,700万の減としました。

○ 地方交付税

62億円

(対23年度当初予算額: △8,900万円 1.4%)

歳入予算の42.1%を占める地方交付税

普通交付税 55億6,023万円

特別交付税 6億3,900万円

平成23年度に比較して8,889万2千円(1.4%)減の61億9,923万1千円を見込みました。

○ 地方特例交付金

850万円

(対23年度当初予算額: △4,000万円 82.3%)

平成24年度税制改革に伴い必要となる自動車取得税交付金の減収補てんのため交付金を国費から地方増収への振替による減。エコカー減税【平成27年3月まで3年延長】

○ 国・県支出金

27億9,000万円

(対23年度当初予算額: △7,000万円 2.4%)

子どものための手当支給額による国庫支出金の減や針持小学校プール改築事業、合併市町村一体化促進支援事業(文化会館舞台音響改修工事)の増など、平成23年度に比較して6,986万円(2.4%)の減で27億9,191万1千円を見込みました。

○ 地方消費税交付金

2 億 5,000 万円

(対 23 年度当初予算額:△280 万円 △1.1%)

平成 23 年度に比較して 275 万 8 千円 (1.1%) 減の 2 億 4,491 万 2 千円を見込みました。

○ 繰 入 金

1 億 700 万円

(対 23 年度当初予算額:3,200 万円 42.9%)

「魅力ある地域産業づくり」チャレンジ基金、合併浄化槽施設設置支援基金、太陽光発電システム設置支援基金、地域に光注ぐ安全・安心基金繰入金、地域福祉基金 公衆浴場運営基金を繰り入れる。財政調整交付金は取り崩さず、健全な財政運営によって将来の国の財政健全化策による交付税等の減額や経済の動向に対応できるように備えることとします。

○ 市 債

12 億 3,900 万円

(対 23 年度当初予算額: 1 億 8,800 万円 17.9%)

(単位:千円)

臨時財政対策債	臨時財政対策債	615,000
市道整備事業	過疎債・辺地債	230,800
針持小学校プール改築事業	過疎対策事業債	55,700
曾木の滝公園観光拠点施設整備事業	過疎対策事業債	52,000
消防タンク車購入(南署)(大口自動車班)	過疎対策事業債	43,600
文化会館舞台音響設備改修事業	過疎対策事業債	37,200
大口ふれあいセンター大規模改修事業	過疎対策事業債	35,800
自治会活動支援事業	過疎地域自立促進特別事業ソフト分	30,000
コミュニティ協議会運営事業	過疎地域自立促進特別事業ソフト分	26,400
病院群輪番制病院運営事業	過疎地域自立促進特別事業ソフト分	26,300
地域公共交通対策事業	過疎地域自立促進特別事業ソフト分	21,900
むらづくり整備支援事業	過疎地域自立促進特別事業ソフト分	20,000
公共土木施設等災害	災害復旧事業債	9,700
農地農林施設災害	災害復旧事業債	9,000
県単補助治山事業	一般単独事業債	9,000
コミュニティ協議会育成事業	過疎地域自立促進特別事業ソフト分	6,500
防火水槽(多々良石)	過疎対策事業債	4,800
在宅当番医制事業	過疎地域自立促進特別事業ソフト分	3,300
消防小型ポンプ購入事業	過疎対策事業債	1,700
		1,238,700

平成 23 年度に比較して 1 億 8,790 万円 (17.9%) 増の 12 億 3,870 万円としました。

○交付税措置：借入額 過疎債 548,600 千円 (70%措置)、辺地債 47,400 千円 (80%措置)、臨財債 615,000 千円 (100%措置)

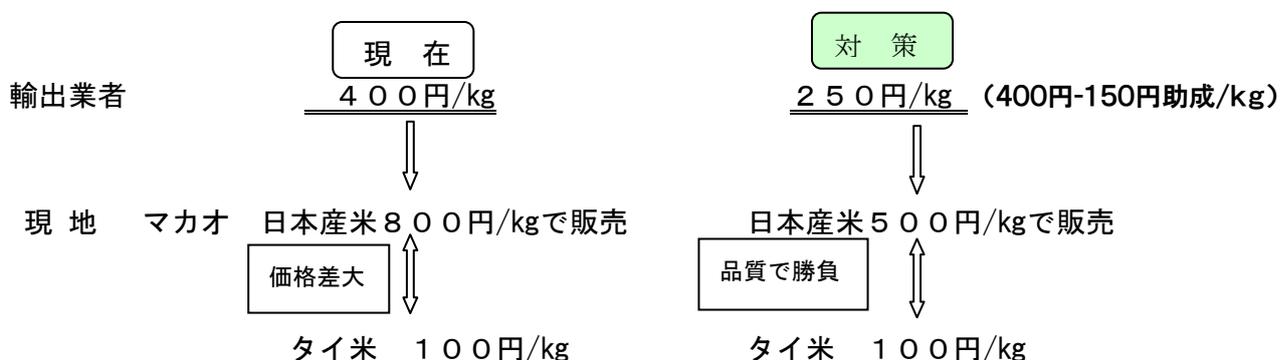
3 歳 出

平成 24 年度における主な事業

★ 農政課

⑧ 伊佐米をセールスし販路拡大 750万円

- ・伊佐米の銘柄を定着 宣伝費
 - ラジオ CM (1本20秒 50回) 50万円
 - バス車体広告掲載 2万円×12月 24万円
- ・伊佐米輸出促進補助金 150円/kgを助成 150万円



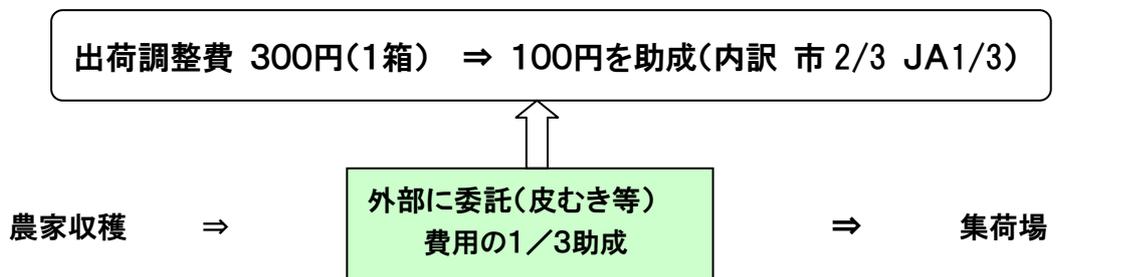
⑨ 伊佐市ブランド野菜の新規栽培と面積拡大 180万円

かぼちゃの新規栽培 (平成 23 年~24 年) 市 1/3 補助 24 年度 1,362 千円

⑩ 新規に金山ネギの面積拡大事業 (平成 24 年~26 年度) 467 千円

多大なネギ出荷調整作業の労力を軽減する

10a当たり 1 農家 700 箱を助成上限



⑪ 新ゴボウの作付面積を拡大 430万円

新規栽培農家・面積拡大を図る。

現在15ha(35名) ⇒ 目標30ha(60名)

- ・資材助成(7ha分) 事業費の 2/3助成 254万円
- ・機械購入助成(深耕ロータリー・ゴボウ掘り取り機) 事業費の1/2助成 176万円

④新規就農者の育成支援

900万円

新規就農と就農後の定着を支援するため、就農前の研修と就農直後の所得を確保するため給付金を給付する。

- (1) 青年就農給付金「経営開始型」(国庫) 300万円
人・農地プランに位置づけられた、原則45歳未満の独立・自営就農者について、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保するため給付金を給付。
2名 年間150万円、最長5年間給付
- (2) 市単独就農促進事業【財源 チャレンジ基金】 600万円
農業法人や先進農家が、伊佐市内に就農を予定する者を新たに雇用し、実践的な農業技術や経営手法等を習得させるために必要な経費の一部を支援。
5名(10万円/月 雇用者へ支援)

重点分野雇用創出事業(国庫)

300万円

農業分野で雇用を創出するため、就農意欲のある者について、伊佐市農業公社を通じて、栽培技術や農業経営管理手法を習得するための研修を行い、スムーズな新規就農につなげる。

2名 年間150万

麴用米生産を拡大【財源:チャレンジ基金】

400万円

焼酎原料米の産地国表示の義務付けにより地元酒造会社へ地域産の麴用米を継続的安定的に供給する。22年度18ha・23年度26ha・24年度40ha計画

⑤特定優良種雌牛保留導入事業【財源:チャレンジ基金】

2,000万円

3位まで20万円、4位~7位15万円、8位~10位10万円、自家保留20万円、自家保留秀賞10万円

⑥牛舎施設の整備に補助金

250万円

現在 低コスト牛舎建設補助金 900円/m² → 改正 建設経費の1/3(上限50万円)

⑦養蜂振興を図る

10万円

種子代を助成……現在 レンゲの作付け面積 23ha(養蜂農家6戸)

⑧家畜防疫対策を強化

150万円

多頭飼育者の農場は人、飼料運搬車の出入が多く防疫重点地域に指定し消毒を徹底、防疫体制の確立を図る。

1基90万の1/3を補助

5基を計画



新環境微生物(マイエンザ)で悪臭対策
羽月八代地区・崎山地区実証

90万円

ほ場整備費の償還(債務負担行為)
最終支払い年度

2億5,600万円

大口地区 平成37年 (25年以降残高 10億7,800万円)
菱刈地区 平成30年 (" 6,500万円)

④土地改良区が管理する農業用施設の維持管理を補助
公共的役割を持つ用排水路等の農業用水利施設の維持

800万円

幹線用水路 43.9km
排水路 424.6km
樋門 50箇所

⑤降灰地域飼料作物確保事業を実施

3,700万円

活動火山周辺地域において、降灰による作物の被害対策を図る。
平成23年度からの県知事特認で開始
県補助率70% (3戸以上の6団体 徳辺・下荒田・宮人・東・須原・金波田地区を実施)

むらづくり事業

2,000万円

集落地区単位で組織するむらづくり推進委員会で地域の課題を解決する。

⑥県畜産共進会費用 20,000円 ⇒ 50,000円

40万円

薩摩中央家畜市場管内に統一

中山間直接等支払制度で耕作放棄地を防止

1億3,800万円

中山間地域における過疎化、高齢化の中、田畑の耕作放棄地防止を図る。

★福祉事務所

子どものための手当

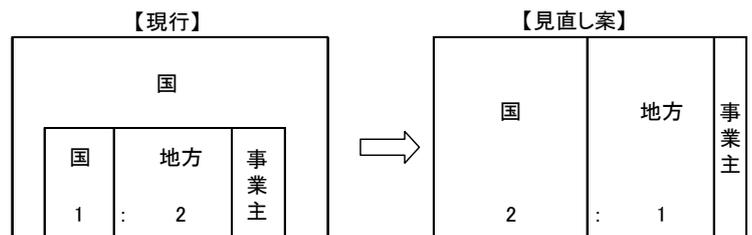
(子ども手当(24年3月末法案切れ))

4億2,200万円

- 15歳の4月1日の前日(中学校修了)までの子どもの保護者に対し、子どものための手当を支給
 - 支給等の事務は、市区町村(公務員は所属庁)。
- 支払月は、平成24年6月、10月、平成25年2月

(次期国会審議)

新手当 子どものための手当支給



【見直し案】 3歳未満 15,000円
3歳以上小学校終了前 10,000円
中学生 10,000円
所得制限 5,000円

第3子以降15,000円

年収960万(夫婦子ども2人を基準)24年6月から

地域子育てトータルサポート事業

1,700万円

妊娠期から18歳までの児童と保護者の総合的な相談支援と支援体制ネットワークの構築を図る。

十曾子ども森事業での、自然体験活動やワークショップによる子どもの発達支援。



子ども達とワークショップ（体験型講座）
で作成したでピザ窯

子ども発達支援事業

5,600万円

心身の発達に不安を感じたり、気になる乳幼児とその保護者に対して通園の場を設けて、早期に療育を行い豊かに成長・発達していくことを保障することを目的とし、親子教室や児童発達支援事業を行う。

放課後児童健全育成事業

3,000万円

保護者が労働等により昼間家庭にいない原則として小学校1年生から3年生までの児童を放課後及び長期休暇に預かり、指導員を配置し、適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図る。

障がい児放課後等サービス事業

1,800万円

学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において生活能力向上の訓練、交流の促進する放課後の活動場所をつくる。

子ども安心医療助成(小学1年生～18歳)

160万円

子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、健康の保持増進を図るため、子どもの医療費の一部を助成。

- ・世帯の所得金額が350万円以下
- ・子ども1人1回の入院が3日以上で毎月の一部負担金から3,000円を控除した額を助成
- ・当該年度による子ども1人の一部負担金が8万を超えた額を助成

★ 地域振興課



新たな出会い応援サポート

80万円

独身男女の出会いの場を創出

募集対象

「出会い重視」 定員40名(男女各20名) 25歳位～50歳位までの独身男女
※ 男性は伊佐市在住に限る

「交流重視」 定員50名 20代から30代



曾木の滝公園観光拠点施設管理運営事業

200万円

伊佐市観光の情報発信として自然エネルギー学習、曾木発電所遺構学習の機能を持つ施設の管理運営を行う

曾木の滝公園観光拠点施設整備工事



完成イメージ透視図



曾木の滝駐車場新設工事・多目的トイレ設置工事

7,200万円

重点分野雇用創出事業 2名雇用 公園管理事業

450万円

★ 建設課



木造住宅整備で商工業の活性化と木造利用の促進を図る【財源:チャレンジ基金】 6,000万円

【期間 24年から26年】

伊佐市内に住所を有し、自らが居住する木造住宅で、市内の業者を利用し、新築、増築をした場合に助成

【交付要件の概要】 その他詳細要件有

条 件	新築工事	増改築工事
対象者	市内に住所を有するもの(申請年度3月末までに転入し居住するもの)	
対象住宅	木造住宅	建築後1年以上経過した木造住宅の増改築
対象工事	市内建築業者が行う300万以上の建築工事 市内製材業者から構造材の購入	市内建築業者が行う50万以上の改築工事
補助金額	対象経費の10/100 30万円上限(新築工事) 10万円上限(製材業者から購入)	対象経費の10/100 10万円上限〔増改築〕

〔基金設置〕 木造住宅整備促進支援基金 2,000万円×2カ年(25・26年) = 4,000万円
24年度予算 2,000万円

社会資本整備で雇用を確保

4億8,400万円

工事請負費の状況(設計委託業務費、用地費等除く)

- ・市道等維持管理事業(除草・維持補修) 西本町里道外2線、永尾金波田外24線 9,000万円
- ・一般管理 道路新設改良 上青木中山外16線 8,600万円
(継続路線) 堂崎外4線 4,400万円
- ・地方特定道路整備事業 針持橋架替工事外3線 事業費8,400万円(負担金5%420万円)
- ・過疎債・路線整備事業 曾木ノ滝下荒田、諏訪下脇曲、花北4号、重留青木、十曾線 1億2,000万円
- ・辺地債・路線整備事業 田代線 4,500万円
- ・浸水対策道路整備事業 里町轟公園、大道下青木線 5,500万円
- ・公営住宅管理事業 西水流団地外壁補修工事、池田団地水洗化改修工事 4,000万円

橋梁の長寿命化修繕計画を策定

800万円

平成24年計画策定(284橋)、平成25年実施計画10橋の整備を急ぐ

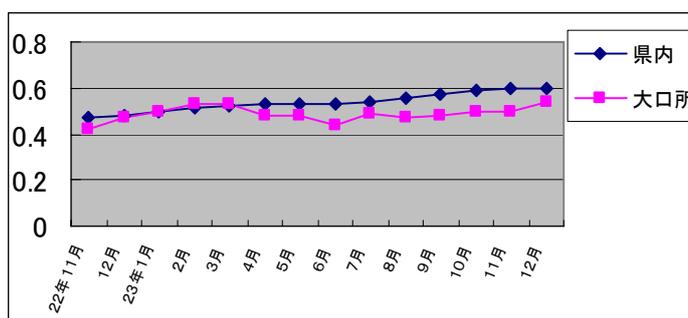
市単独 緊急雇用創出事業(継続)

1,100万円

継続雇用 8名 【有効求人倍率0.42(22年11月) ⇒ 0.54(23年12月)】

有効求人倍率の推移

22年11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0.47	0.48	0.5	0.51	0.52	0.53	0.53	0.53	0.54	0.56	0.57	0.59	0.6	0.6
0.42	0.47	0.5	0.53	0.53	0.48	0.48	0.44	0.49	0.47	0.48	0.5	0.5	0.54



★ 健康増進課

子宮頸がんワクチン接種に全額助成 800万円(継続)

・子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染予防を目的としたワクチン接種に助成。

中学校1年生～高校1年の受診率 80%……未接種者分（20%） 331万円

新中学1年生100人 3回接種分…………… 473万円

・Hib ワクチン接種全額助成 605万円(継続)

・小児用肺炎球菌ワクチン接種全額助成 798万円(継続)

★ 長寿支援課

まごし館底(ひさし)設置工事(健診時の雨水対策) 470万円

福祉タクシー利用一部助成 8,000 枚 380万円

認知症予防対策として頭の体操教室開催(5箇所) 250万円

(介護保険事業特別会計)

全ての高齢者が地域社会で健やかに安心して生活できるよう第5期介護保険事業がスタート

(期間 24年・25年・26年)

保険料基準月額 **3,600円** ⇒ **3,960円** に改定



(財政安定化基金取崩し(県) 3,200万円 月額103円相当繰入)

(介護保険基金取崩し(市) 1億5,300万円 月額495円相当繰入)

介護施設サービスの充実(49床)

見守り給食配送業務 大口地区 160食 1,270万円
菱刈地区 95食

◎老人介護人への手当 45名 月額 5,000円 ⇒ 10,000円に改定 540万円

★ 教育委員会総務課

◎針持小学校プール改築工事等 9,900万円

菱刈中学校屋体外壁補修工事・大口中学校通用口道路改修工事 1,400万円

大口小学校危険校舎1号棟解体工事・体育倉庫新築工事・渡り廊下新築工事・ことばの教室空調工事・平出水小学校体育館屋根改修工事・菱刈小学校気中開閉器取替工事・牛尾小学校屋体外壁補修工事・田中小学校外壁補修工事 4,800万円

㊦曾木小学校屋外トイレ新築工事 1,600万円

㊦小学校トイレの洋式化(牛尾小学校・羽月西小学校・曾木小学校・本城小学校) 120万円

魅力ある高校づくり補助金 100万円×3校 300万円

★ 総務課

㊦ 南三陸町へ職員を2名派遣(1年間) 5年間継続 500万円

(車両購入・旅費等)

三役の給料を10%削減 △ 240万円

昨年に引き続き市長・副市長・教育長の給料を10%削減します

㊦避難所にテレビを購入(羽月地区公民館、西太良地区コミュニティセンター、曾木小学校、元気こころ館) 80万円

(再掲)

㊦避難所のトイレを整備(羽月地区公民館・西太良コミュニティセンター・曾木小学校) 1,700万円

消防団員報酬 団員383人 2,500万円

大口方面分団、菱刈方面分団を廃止し、1～17分団とする。
三役の報酬を調整

㊦団員のハッピーを購入(旧大口・菱刈のハッピーから伊佐市ハッピー作成) 450万円

㊦防火水槽を設置(新青木) 480万円

消防ポンプ自動車 2,000万円

★ 企画調整課

コミュニティ協議会の育成を支援 1,400万円

自治会事務交付金

大口 7,300戸 菱刈 2,900戸 3,100万円

㊦危険家屋解体撤去助成金

150万円

老朽化で倒壊や部材の飛散などの危険性がある空き家等の解体・撤去に助成し近隣住民への不安解消や生活環境の改善を図る

㊦西太良コミュニティ センターのトイレを改修

90万円

「魅力ある地域産業づくり」チャレンジ基金（繰入）

6,300万円

市における中長期的な地域産業の動向を見据え、産業構造の基盤強化と先見性のある分野の育成を図り、新たな経済活動効果を創出。



伊佐ブランド全国発信事業	7,540 千円
麴用米生産拡大事業	4,000 千円
優良種雌牛保留導入事業	20,400 千円
園芸振興事業（かぼちゃ・ゴボウ）	3,890 千円
新規就農者育成支援事業	6,000 千円
木造住宅整備促進事業	20,000 千円
ふるさと暮らし情報ブース等	1,470 千円

★ 市民課

24年中に予定される選挙

(千円)

選挙名	任期	事業費
農業委員選挙	平成24年10月31日	10,885
市長選挙	平成24年11月29日	44,868
市議会議員選挙	平成24年11月29日	
県知事選挙	平成24年7月27日	20,339

(国民健康保険事業特別会計)

外来人間ドック 140名

390万円

脳ドック 60名

150万円

PETがんドック 60名

300万円

(後期高齢者特別会計)

㊦75歳以上の外来人間ドック 1件 50,000円 10名

50万円

★ 環境政策課

基金対応事業

1億1,000万円

太陽光発電システム設置事業補助金180基(3ヵ年) 2,854万円

㊦太陽光発電システム設置に要する費用 2,854万円 (60基分の3ヵ年)



・平成24年度に実施する予算954万円
・基金の設置 1,900万円(25年度・26年度)

太陽光発電システム設置による事業費投入(地場産業活性化)
24年度事業費 300万円×60基(24年度)

1億8,000万円
(補助額950万円)

合併処理浄化槽設置事業補助金170基 8,062万円

合併処理浄化槽設置による事業費投入(地場産業活性化)
24年度事業費 80万円×170基(24年度)

1億4,000万円
(補助額8,000万円)

ごみ収集業務委託事業

7,800万円

可燃ごみ…………… 週2回に統一
不燃ごみ…………… 月1回に統一
プラスチックごみ…………… 週1回に統一

汚泥再生処理センター建設の地形測量・地質調査を実施

2,400万円

敷地造成工事 H26
プラント工事 H27～H29
新施設稼働 H30

★ 林務課

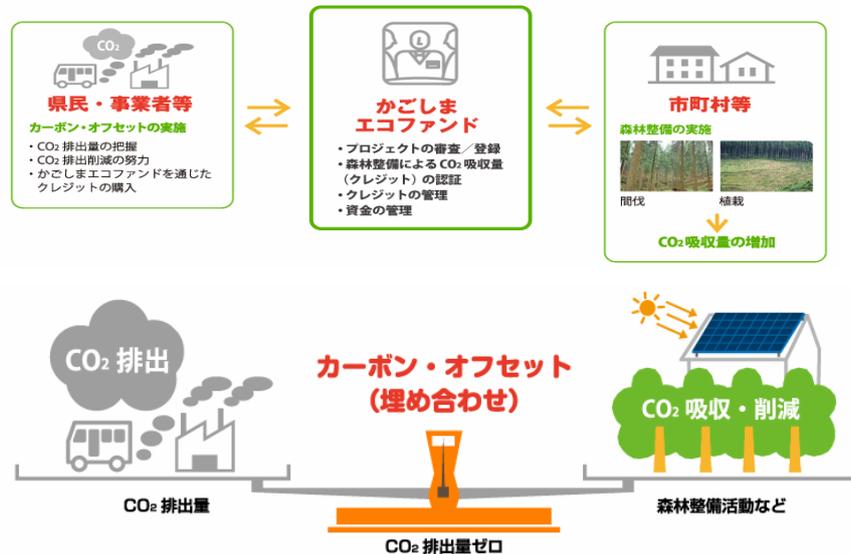
伊佐市の緑豊かな大地の恵みを守る

間伐で846t—CO₂を削減 H23.10.13 申請登録

㊦市有林整備でCo₂吸収プロジェクト ⇒ 110万円の収入

カーボンオフセット

経済活動や日常生活において排出されるCO₂等の温室効果ガスのうち、排出量削減の努力を行ってもどうしても減らせない排出量について、他で実現した温室効果ガスの吸収、排出削減量の購入等により、自らの排出量の全部または一部を埋め合わせる(オフセットする)ことをいいます。



特用林産物の産地育成で収益を向上

森のめぐみの産地づくり事業

【椎茸乾燥機 ・ 人工ほだ場を整備】

240万円

作業路を開設

池田市有林〔湯之尾〕 500mの作業路を開設

1,600万円

重点分野雇用創出事業 2名雇用 市有林管理事業

350万円

★ 学校教育課

㊦ 特別支援教育事業支援員を配置

2,000万円

22名配置 (23年度新規に7名増員、今回1名追加) 1,980万円

幼小中学校に在籍する教育上特別に支援を必要とする幼児児童生徒に対し、障がいに応じた適切な教育的支援を行う。

㊦ 派遣指導主事の1名増

指導力向上及び特別支援教育等の充実のため

★ 社会教育課

ふれあいセンター二階・四階空調機器整備等【財源：合併市町村一体化促進支援事業】

4,600万円

ふれあいセンター外壁等改修

2,200万円

市指定文化財「オガタマノ木」の樹勢回復【財源：みどりの基金】	150万円
羽月地区公民館トイレの整備(ウォシュレットの設置)	50万円
地域資源電子データベースシステム事業【財源：電源立地地域対策交付金】	470万円

★ 文化スポーツ課

文化会館舞台音響設備改修工事等【財源：合併市町村一体化促進支援事業】	8,700万円
文化芸術の振興(いさのおんがくたい種まきコンサート、伊佐の里コンサート、銀河鉄道の夜公演、青少年劇場)	370万円
文化会館楽屋トイレの整備等(ウォシュレットの設置)	16万円

★ 議会事務局

議員報酬等(報酬・期末手当・共済費) 22名 ⇒ 18名	1億3,000万円
活動旅費 400万円	

★ 水道事業

⊕山野水源地整備工事	1億円
------------	-----

【歳入予算表】

(単位:千円)

区分	平成24年度		平成23年度		増減		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減	比率	
自主財源	市税	3,023,137	20.5%	2,958,514	20.1%	64,623	2.2%
	分担金及び負担金	213,872	1.5%	213,401	1.4%	471	0.2%
	使用料及び手数料	235,509	1.6%	244,817	1.7%	△ 9,308	△ 3.8%
	財産収入	32,498	0.2%	29,265	0.2%	3,233	11.0%
	寄附金	16,752	0.1%	18,663	0.1%	△ 1,911	△ 10.2%
	繰入金	106,905	0.7%	74,831	0.5%	32,074	42.9%
	繰越金	80,000	0.5%	80,000	0.5%	0	0.0%
	諸収入	292,449	2.0%	148,889	1.0%	143,560	96.4%
	自主財源計	4,001,122	27.2%	3,768,380	26.0%	232,742	6.2%
依存財源	地方譲与税	205,991	1.4%	202,246	1.4%	3,745	1.9%
	利子割交付金	4,533	0.0%	7,531	0.1%	△ 2,998	△ 39.8%
	配当割交付金	2,576	0.0%	1,292	0.0%	1,284	99.4%
	株式等譲渡所得割交付金	442	0.0%	442	0.0%	0	0.0%
	地方消費税交付金	244,912	1.7%	247,670	1.7%	△ 2,758	△ 1.1%
	自動車取得税交付金	17,588	0.1%	28,639	0.2%	△ 11,051	△ 38.6%
	地方特例交付金	8,494	0.1%	48,106	0.3%	△ 39,612	△ 82.3%
	地方交付税	6,199,231	42.1%	6,288,123	42.7%	△ 88,892	△ 1.4%
	交通安全対策特別交付金	4,500	0.0%	5,000	0.0%	△ 500	△ 10.0%
	国庫支出金	1,582,645	10.8%	1,736,771	11.8%	△ 154,126	△ 8.9%
	県支出金	1,209,266	8.2%	1,125,000	7.6%	84,266	7.5%
	市債	1,238,700	8.4%	1,050,800	7.1%	187,900	17.9%
	依存財源計	10,718,878	72.8%	10,741,620	74.0%	△ 22,742	△ 0.2%
歳入合計	14,720,000		14,510,000		210,000	1.4%	

【歳出予算表】

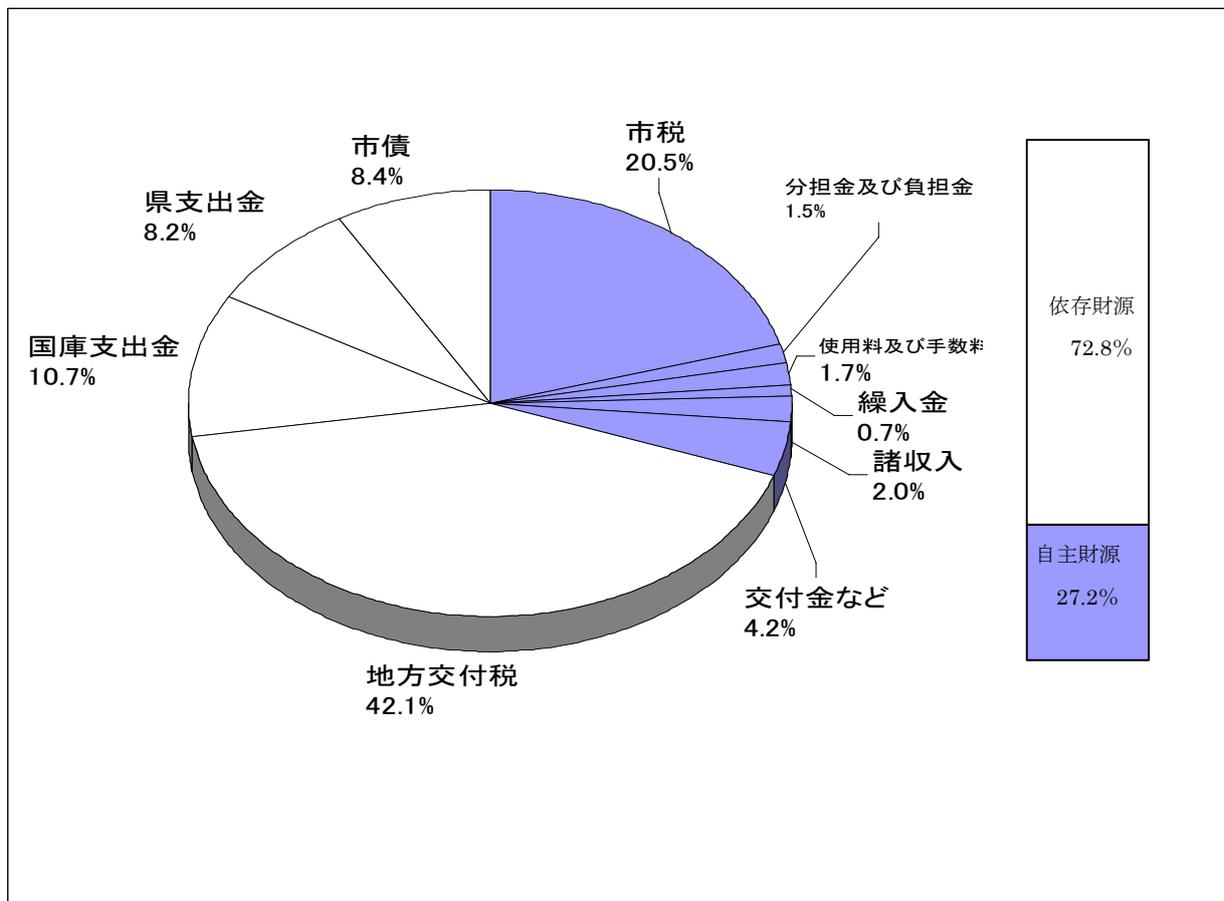
(単位:千円)

区分	平成24年度		平成23年度		合算額との比較		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減	比率	
義務的経費	人件費	2,692,352	18.3%	2,789,722	19.0%	△ 97,370	△ 3.5%
	（うち職員給）	1,547,391	10.5%	1,592,346	10.8%	△ 44,955	△ 2.8%
	扶助費	3,245,156	22.0%	3,275,815	22.3%	△ 30,659	△ 0.9%
	公債費	1,733,340	11.8%	1,886,143	12.8%	△ 152,803	△ 8.1%
義務的経費計	7,670,848	52.1%	7,951,680	54.8%	△ 280,832	△ 3.5%	
投資的経費	普通建設事業費	1,593,340	10.8%	1,251,438	8.5%	341,902	27.3%
	うち補助事業	204,416	1.4%	180,638	1.2%	23,778	13.2%
	うち単独事業	1,388,924	9.4%	1,070,800	7.3%	318,124	29.7%
	災害復旧事業費	134,778	0.9%	124,382	0.8%	10,396	8.4%
投資的経費計	1,728,118	11.7%	1,375,820	9.5%	352,298	25.6%	
その他の経費	物件費	1,349,887	9.2%	1,442,413	9.8%	△ 92,526	△ 6.4%
	維持補修費	90,622	0.6%	91,857	0.6%	△ 1,235	△ 1.3%
	補助費等	1,820,827	12.4%	1,702,770	11.6%	118,057	6.9%
	積立金	359,216	2.4%	246,896	1.7%	112,320	45.5%
	投資及び出資金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	貸付金	11,040	0.1%	9,480	0.1%	1,560	16.5%
	繰出金	1,659,442	11.3%	1,659,084	11.3%	358	0.0%
	予備費	30,000	0.2%	30,000	0.2%	0	0.0%
その他計	5,321,034	36.1%	5,182,500	35.7%	138,534	2.7%	
歳出合計	14,720,000	100.0%	14,510,000	100.0%	210,000	1.4%	

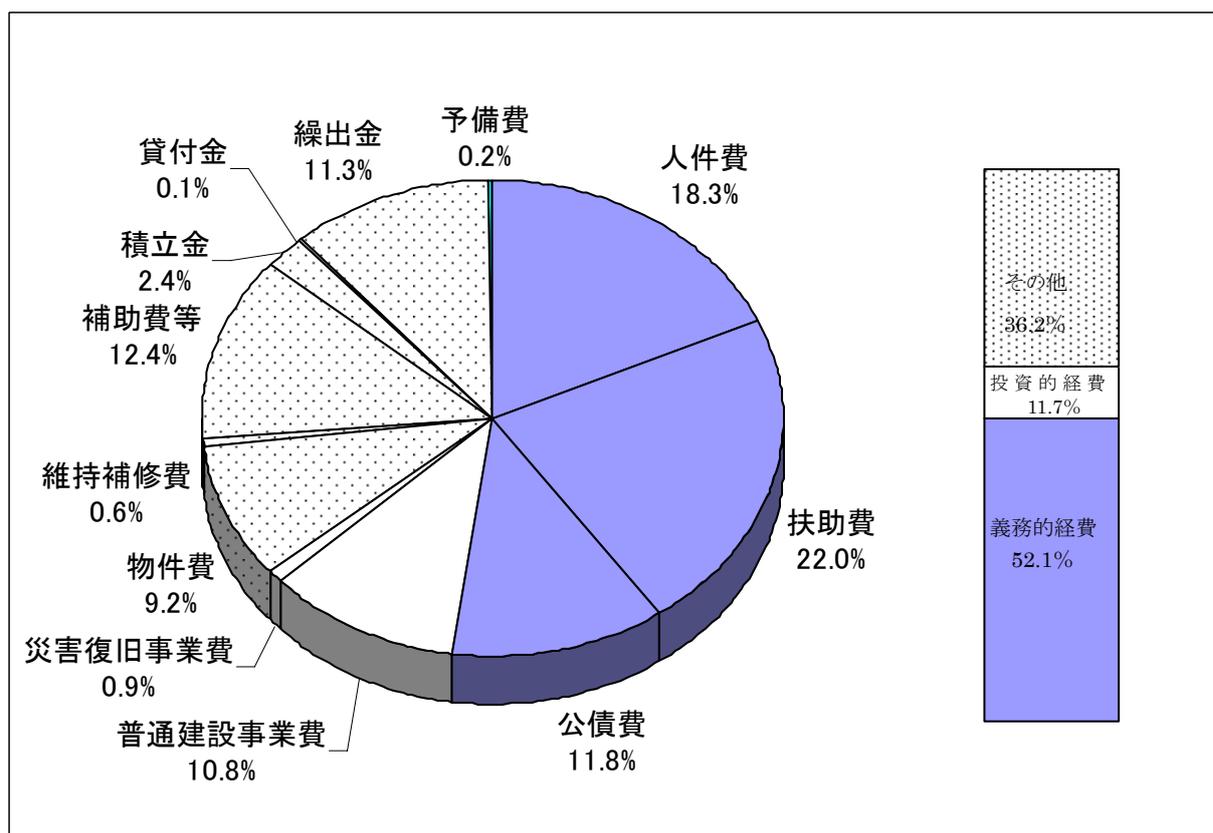
端数処理により合計と一致しない

【平成 24 年度伊佐市当初予算(一般会計)グラフ】

○ 歳 入



○ 歳 出



4 市債（市の借金）の状況

平成 23 年度より借金が約2億8千万円減る見込みです。

平成 24 年度の市債（市の借金）は次のとおりです。23 年度は体育施設、小中学校の耐震補強事業や臨時財政対策債の大幅な減があり、24 年度においては曾木の滝観光拠点施設の整備、針持小学校プールの改築や市道の整備事業により 23 年度より借入額が増となるものの、返済額がこれを上回るため借金は減りました。今後も「選択と集中」により健全な財政運営に努めます。

平成23年度末の市債(借金)残高見込	平成24年度の起債(借入)額	平成24年度の償還(返済)額	平成24年度末の市債(借金)残高見込
140 億8,000万円	12億4,000万円※	15億2,000万円	138億円
内臨時財政対策債51億7,000万円	6億1,000万円※	2億2,000万円	55億6,000万円

※起債額は臨時財政対策債 6 億 1,500 万円含む（後年度交付税措置あり）

【表内は概数】

★合併時市債残高 159 億円 ⇒ 138 億円（21 億円の減）

○ 市民 1 人あたりの借金は、46 万 6,374 円(23 年度末残高:46 万 8,833 円、2,459 円の減)

平成 24 年度末の市債残高を 1 月 1 日現在の市人口 29,590 人で割ると市民一人あたりの額は、およそ46 万 6,374 円となります。23 年 1 月 1 日の人口は 30,032 人で、23 年度末の市債残高見込み額は一人あたりの額は46 万 8,833 円となります。23 年度末より人口が約442 人減少していることとなります。全体の借金の残高は減少し 24 年度の一人あたりの借金も2,459 円減ることとなります。

※ 伊佐市民は、国:747 万円、県:97 万円、市:47 万円の合計約 891 万円の借金を背負っている。

国:「国債及び借入金並びに政府保証債務現在高」の 9 月末(954.4 兆円)を基礎とする。国・県・市の基準日、基準額は異なる。

5 基金（市の貯金）の状況

基金（貯金）の年度末残高は 1 億 5,000 万円程度増額する見込みとなりました。

平成 24 年度末の基金（市の貯金）残高予定は 58 億 4,687 万 6 千円と、平成 23 年度末の見込額に比較して 1 億 4,701 万 7 千円の増となる見込です。

○ 市民 1 人あたりの基金は、19 万 7,596 円

平成 24 年度末の基金残高を 1 月 1 日現在の市人口 29,590 人で割ると市民一人あたりの額は、およそ 19 万 7,596 円となります。

（単位：千円）

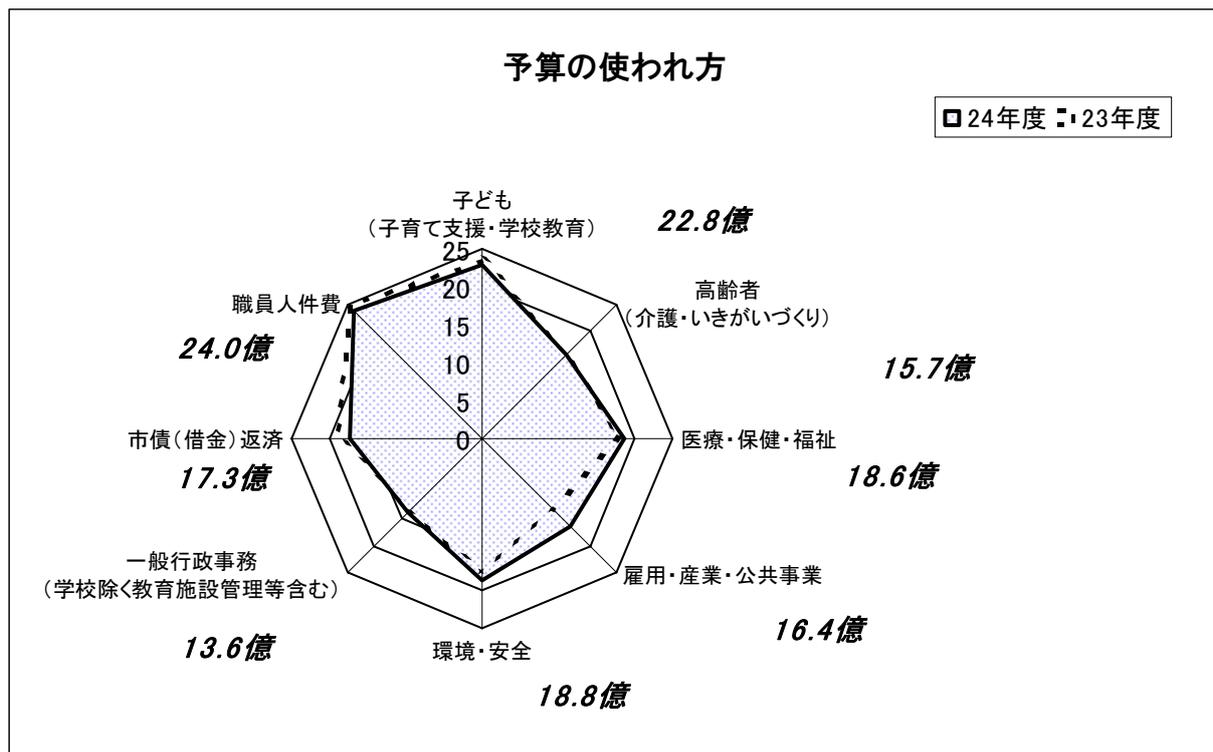
基金名	年度	合併時残高 決算(千円)	23年度末残高 見込(千円)	24年度予算(千円)		
				取崩し	積立	年度末残高
財政調整基金		1,707,541	4,832,059	0	144,216	4,976,275
減債基金		200,006	67,376	0	40	67,416
退職手当準備基金		171,016	105,296	105,296	0	0
特定公有財産取得基金		125,089	380,324	0	150,100	530,424
地域福祉基金		166,405	103,754	7,090	50	96,714
その他基金		54,448	28,509	2,178	5	26,336
携帯電話基地局整備基金		0	10,100	0	5,700	15,800
「魅力ある地域産業づくり」チャレンジ基金		0	127,956	63,300	85	64,741
太陽光発電システム設置支援基金		0	1,850	1,850	19,001	19,001
合併浄化槽施設設置整備基金		0	27,145	17,000	14	10,159
地域に光注ぐ安全・安心基金		0	15,490	15,485	5	10
木造住宅整備促進支援基金		0	0	0	40,000	40,000
合計		2,424,505	5,699,859	212,199	359,216	5,846,876

★合併時基金残高 24 億円 ⇒ 58 億円（34 億円の増）

【参考】平成 24 年度予算(一般会計)の使われ方

★ 市債償還については前年度より1億 5,300 万円減少する見込み。

雇用・産業・公共事業に関する経費では、ほ場整備事業・道路新設改良事業・公園管理事業・浸水対策道路整備事業・飼料作物確保対策事業などが多きなウエイトを占めています。職員人件費については職員数の減により 7,400 万円減額となります。また、公債費については毎年減少傾向となる見込みです。



雇用・産業・公共事業の欄：平成 24 年度は曾木の滝公園駐車場新設工事・多目的トイレ設置工事の 7,200 万円が含まれる。

項目	予算額		
	23年度	24年度	増減
未来をになう子どもたちのために (子育て支援、教育)	23.3億円	22.8億円	△ 0.5億円
高齢者の安心で健やかな生活のために (高齢者の健康・いきがづくり、生活支援、介護)	15.9億円	15.7億円	△ 0.2億円
健やかな生活のための保健・医療と、福祉社会の実現のために (医療・保健、障害者福祉、生活支援など)	18.2億円	18.6億円	0.4億円
雇用の確保と地域産業の振興のために (雇用対策、産業振興、公共事業)	13.0億円	16.4億円	3.4億円
美しい自然と安心で利便性のある生活環境を守るために (環境・地球温暖化対策、防災・災害対策、情報通信・消費者対策)	17.7億円	18.8億円	1.1億円
確実な行政事務の実施のために (総務事務、議会、庁舎・学校除く施設管理など)	13.4億円	13.6億円	0.2億円
借金(市債)返済	18.9億円	17.3億円	△ 1.6億円
職員人件費	24.7億円	24.0億円	△ 0.7億円
合計	145.1億円	147.2億円	2.1億円

伊佐市の予算を「わが家の家計簿」に置き換えると・・・

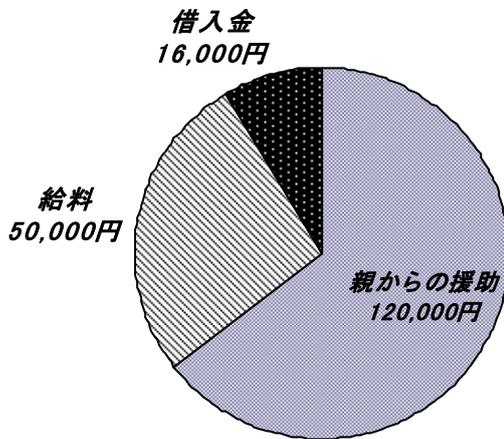
伊佐市の予算を、所得 224 万円の家庭におきかえてみました(1 カ月当たり約 18 万円)。収入のほとんどを「親からの援助」に頼っており、支出では「家族の医療費」にかかる経費が多いことがわかります。

このことは、伊佐市は交付税や国県の支出金などに依存しており、支出では福祉や医療などの社会保障に係る経費が多いことを意味しています。

<http://www.pref.kagoshima.jp/ac09/tokei/bunya/keizai/syotoku/documents/gaiyou.pdf>

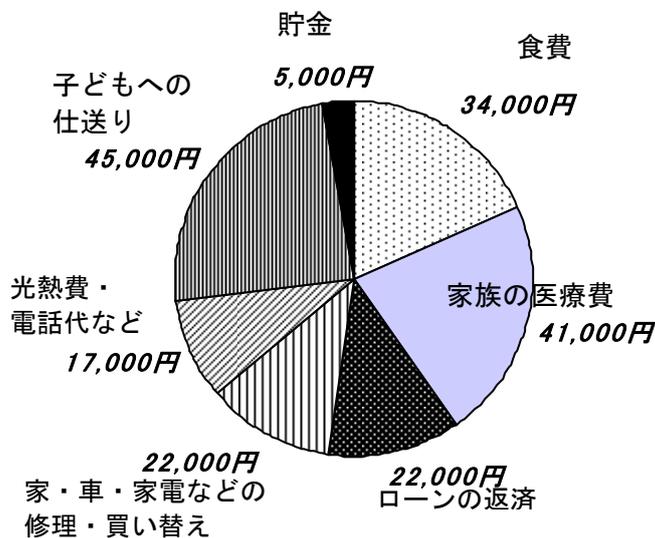
[平成 23 年 3 月鹿児島県統計協会公表 平成 20 年度 市町村民所得推計 伊佐市 1 人当たり 2,235 千円]

◎ 収入



項目	収入額
親からの援助 (交付税、国・県支出金など)	120,000円
給料(市税、諸収入など)	50,000円
借入金(市債)	16,000円
1ヶ月の収入合計	186,000円

◎ 支出



項目	支出額
食費(人件費)	34,000円
家族の医療費(扶助費)	41,000円
ローンの返済(公債費)	22,000円
家、車、電化製品の修理、 買い替え(建設、維持補修費)	22,000円
光熱費、通信費など(物件費)	17,000円
一人暮らしの子どもへの仕送り (補助費、繰出金)	45,000円
貯金など(積立金)	5,000円
1ヶ月の支出合計	186,000円

----- メ モ -----

【お問合せ先】

伊佐市役所 財政課 財政係

〒895-2511 伊佐市大口里 1888 番地

電 話 : 0995-23-1311 (内線 1141・1142・1143)

F a x : 0995-22-5344

E-mail: zaisei@city.isa.lg.jp

